

非稼働病床の現況について（豊能二次医療圏）

※過去 1 年間病床が全て稼働していない病棟を有する病院または過去
1 年間病床が全て稼働していない有床診療所（非稼働病棟等という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病棟等の状況			計画		
			病床数	非稼働病棟等になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	医療法人 互惠会 池田回生病院	池田市	37床	平成20年度	現在医師、看護師不足により1病棟を閉鎖しています。医師については今春に2名入職し、充実してきましたが、病棟再開には他に医師2名、看護師9名必要となる。	再稼働		休床中である2階病棟については、稼働に向けて、令和5年5月に入職した副院長を中心に、人員、病棟機能を含めた検討を行っている。令和6年、7年中には人員を増員し、確保出来次第2階病棟を再稼働の予定である。
2	独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター	豊中市	15床	令和2年度	令和2年2月より4月中旬にかけて非稼働病床26床を新型コロナウイルス感染症患者受入病床として使用した経緯があるが、令和2年4月下旬からは既稼働病床にて受入を実施した。 病棟の運用病床数を令和2年6月より9床、令和5年2月より2床増加したため、現在の非稼働病床は15床となっており、病院運営に必要な看護師数等は現行の稼働病床数に基づき配置している状況である。	再稼働	未定	現在、非稼働病床となっている15床は、体制が整い次第稼働させる予定である。ただし、新興感染症患者（新型コロナウイルス感染症患者を含む）受入のための病床として使用する可能性は多分に残されており、通常の運用病床として稼働可能となる時期は現時点では未定。